

# 西中だより

平成27年度 No.23  
平成28年 1月12日  
須賀川市立西袋中学校  
発行責任者 鶴巻 弘士

&&& いよいよ第3学期がスタート! &&&

- 保護者並びに地域の皆様、明けましておめでとうございます。1年の計は元旦にありと言われます。そこで、生徒には次の言葉を用いて話をしました。「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし。故に 夢なき者に成功（成長）なし。」(吉田松陰)

つまり、目標となる夢を持ち、その実現に向けて努力することが大切だということです。

ー 以下、各学年代表3名の「三学期の抱負」について要点を端的に紹介します。ー【敬称略】

- ◇渡部信宇（1年）：3学期は、みんなが注意し合ってメリハリのある態度や雰囲気をつくっていききたい。3学期が終われば、僕達1年生は2年生になります。来年度入ってくる1年生の手本になるのです。3学期は1・2学期で学んだことを生かして、2年生になるための土台を築くときです。2年生の行動から、今何をすべきなのかということ学び、そこから直すべきところを学年皆で注意し合っていきたいです。
- ◇石塚 光（2年）：3学期の目標は、2学期の反省点を改善することです。学習面では、3年生に向けて朝学習が始まる8時には、落ち着いた学級の雰囲気をつくりたいです。部活動では、新人戦で他校とのレベルの差を感じ、悔しい思いをしたことを忘れず、日々の練習に励み、少しでもレベルアップを図りたいです。修学旅行に向け班で協力し合い計画を立て、余裕を持って行動し、思い出に残る旅行にしたいと思います。
- ◇岩崎花奈子（3年）：私達3年生が西袋中学校で過ごす最後の学期となりました。悔いのない学期にするために二つの面から目標を立て、生活していこうと思います。一つ目の学習面では、自己管理を徹底し、自分に対して甘くならないようにしていきたいです。また、苦手教科を重点的に勉強し、自分の進路実現に向けて努力したいです。二つ目の生活面では、適度な緊張感を持ちつつ、自分の状況を見つめ直し、自分が今何をすべきなのかよく考え、行動していきたいと思います。



◆◆◆ 冬休み前に活躍した生徒の紹介 ◆◆◆

- 平成27年12月22日の第2学期終業式で、2学期に行なわれた各種大会・コンクールで表彰された生徒を紹介します。【敬称略】

- ・JA 共済福島県小中学生書道コンクール奨励賞：松浦瑠那
- ・岩瀬地区中学校生徒造形作品秀作審査会特選：34名、根本怜於（代表）
- ・福島県中学校生徒造形作品秀作審査会特選：阿部沙雪、鈴木杏奈、佐久間壱成、伊藤仮名、首藤あかり
- ・全国中学生人権作文コンテスト福島県大会奨励賞：新井木乃香
- ・須賀川市愛護育成会作品展優秀賞：紺野未来、樽川菜摘
- ・福島県アンサンブルコンテスト県南支部大会◇クラリネット四重奏の部銀賞：佐藤凜、佐藤千尋、遠藤紫織、有賀美沙希、◇管打楽器七重奏の部銀賞：松谷歩佳、阪路夏実、黒澤美月、杉本京也、小林侑生、矢吹瑠菜、鈴木祥太、◇金管八重奏銅賞：田中智美、本田瑠奈、横山遥香、佐藤 颯、田中敬進、渡部信宇、磯貝樹梨、安藤朱音

《 校長のつぶやき 》・・・ある指導者の名言から学ぶ（正月のテレビ番組より）・・・

- 「情報を正しく認識し、使いこなすことで、メンタル面は強くなる」：学習でも部活でも、使っている言葉について正しく理解し、様々な場面で使いこなすことで自信を持って取り組めるようになる。
- 「目標へのマインドセット（意識付け）がうまくできれば よい歩みに繋がる」：適切な目標を掲げることで、(学習や練習への)意欲が高まり、よい取組みができ、成果を得る。
- 「成功したら、正しく誉めてあげる。それが意識付けとなり、自信を植え付けることになる」：正しく誉めるには、生徒をよく観て知っておかなければならない。良いことは直ぐに誉めること、その一方で駄目なことや良くないことも指摘し、何故かを考えさせ、気付かせることが大切です。
- 「ときには違う役割を与えて、秘められた可能性を見つけさせよう!」：立場が変われば、違った見方や考え方を身に付け、その結果、秘めた可能性が新たに見いだせるものである。

